

# 温暖化の影響と 里山の森を守る活動について学ぶセミナー

参加無料

複雑な動きをする台風、数十年に一度の豪雨など、  
これまで経験したことがなかったような気象がふえていると感じませんか？

これらは地球温暖化の影響もあると考えられ、  
森林のある地域では、短時間強雨の影響による土砂崩れなどのリスクが高まると予測されているため、  
浸透・保水力の高い森林を維持する森林保全の役割が重要です。

また、河内には多くの特産野菜や果物がありますが、  
これらの農作物についてもこのまま温暖化の影響が進めば、品質や収穫量の低下が考えられます。

このセミナーでは、温暖化が進むとどうなるのか？  
その影響についてどのような対策をしていけばよいのかという、**温暖化「適応」**の考え方をお伝えします。  
河南町で長年活動を続けている「特定非営利活動法人里山倶楽部」による里山保全、環境保全の取り組み紹介や、  
弘川千年の森の森林保全活動（雨天時：森林ウォーキング）もお楽しみに。

**日時** 2017年9月10日(日) 10:00～15:00

**雨天開催**（活動場所及び内容変更の可能性あり）、**荒天中止**

**場所** 弘川千年の森 森林保全フィールド（大阪府河南町）

**集合場所** 近鉄「富田林」駅前ロータリー ③番バス乗り場

**集合時間** 9:55（富田林駅 9:45 着の電車でお越しください）  
集合後 10:05 発の金剛バス 河内行に乗車  
終点「河内」下車の後、活動フィールドまで徒歩約 20 分

**解散** 15:00 近鉄「富田林」駅にて  
「河内」14:30 発の金剛バスに乗車予定

**内容** 1. 温暖化への適応について学ぶおはなし  
2. 里山倶楽部による里山保全、環境保全の取り組み紹介  
3. 森林保全活動（雨天時：森林ウォーキング）

**対象** どなたでも参加できます。ご家族でどうぞ！  
お申し込みはウラ面をご覧ください



**定員** 20名（要事前申込）

**参加費** 無料（バス運賃 往復 740 円をご用意ください）

**服装など** 動きやすい服装（長袖、長ズボン）、  
滑りにくく歩きやすい靴、帽子、軍手、タオル、  
ピクニックシート、飲み物、昼食、  
必要に応じて雨具など  
※黒い服や帽子、香りの強い整髪料や香水は、  
ハチが寄って来る可能性があるため避けてください

参加申込 以下をお知らせください。申込先 イー・ビーイング  
 TEL:06-6614-1731 FAX:06-6614-1801 メール:adapt@e-being.jp

9/10 温暖化の影響と里山の森を守る活動について学ぶセミナー参加申込	
①お名前（ふりがな）	
②連絡先電話番号	
③FAX 番号	
④メールアドレス	

記載いただいた情報は、本セミナーの出欠確認、荒天時の連絡など、また今後のセミナー・イベントのご案内に利用させていただきます。荒天等で中止の場合は、イー・ビーイング HP (<http://www.e-being.jp>) にも掲載いたします。

## ■集合場所



※車で来られる方は、事前にご相談ください。

## スケジュール（予定）

- 9:55 富田林駅前ロータリー集合
- 10:05 金剛バス 河内行きに乗車
- 10:30 河内にてバス下車、徒歩により移動
- 11:00 セミナー、クイズなど  
昼食  
森林保全体験など
- 14:00 活動終了、徒歩により移動
- 14:30 河内にてバス乗車
- 15:00 富田林駅にて解散

## 地球温暖化って、なに？

地球の平均気温が上がることを「地球温暖化」といいます。

原因は、私たちが日々の暮らしの中で出している、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガスです。地球温暖化は、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。

たとえば…

- ・熱中症になる人が増える
- ・ゲリラ豪雨や大型台風が増える
- ・お米や野菜、家畜が育ちにくくなる …など



## 地球温暖化の影響と考えられること

地球温暖化によって、私たちの生活や自然生態系にさまざまな影響があると考えられます。

- ・短時間で強い雨が降ることが増えると、土砂崩れなどが起きやすくなります。
- ・農作物は、お米の粒が小さくなる、ブドウの色づきが悪くなる、ナスのつやがなくなるなど、品質が悪くなります。
- ・動植物が生息する場所が変わったり、絶滅する動植物が増えます。



## 「緩和」と「適応」



地球温暖化対策は、大きく「緩和」と「適応」に分けられます。

「緩和」…温室効果ガスをできるだけ出さないようにして、地球温暖化が進まないように努力すること。

「適応」…地球温暖化が進んでしまった場合、その影響に対応できるように、私たちの暮らしや社会のあり方を見なおすこと。

## 暮らしの中でできる「適応」

気温が高くなると、熱中症になりやすくなったり、快適さが損なわれたりします。

公園のみどりのある場所、森林などで暑さをしのぐことができます。



また、災害に備えて、非常用持ち出しバッグを用意したり、家族で避難場所を確認するなど、あらかじめ準備しておくことも大切です。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 イー・ビーイング

〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル ITM 棟 11F 西

TEL: 06-6614-1731 FAX: 06-6614-1801 E-mail: info@e-being.jp